

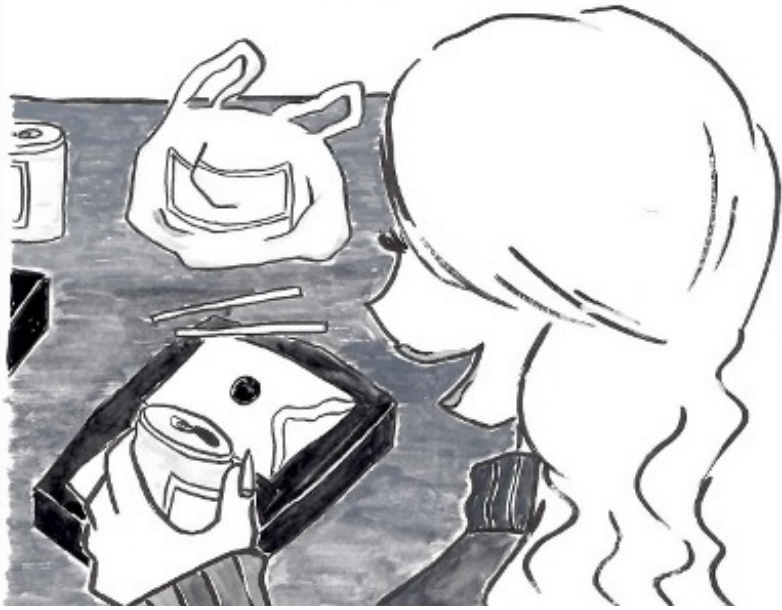




ぼくは 無表情だ。



何も感じないから。



皆を 楽しませる
あいつなら

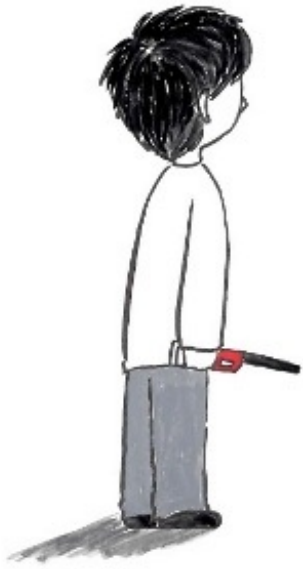




きっと ぼくだって

笑わせてくれると思ったのに。





ああ、まあ
ちょっとは面白いかな。

こんなことを されたって





「まだ 感じねえ フリ してんのか？」

「守るところか 傷つけてやがる。」

「オレの出番だな！」





怖くなんかなかった。
この子は、ぼくを笑わせてくれたから！

「オレはラディ。お前が殺してきた心、
全部 笑いに変えてやるぜ」



そろそろぼくは、自分に嘘つきのやめたんだ。



だって みんなに 楽しいからね!



ぼくと ラディが
一緒に





どんなことでも 乗りこえられるかなあ。

「これ以上 ゴミ 増やすんじやねえよ」





ねえ ラディ。

「おう」

この子の名前、どうする？

「モデルガンと たわむれてたしよお、
4ヤカってどうだ」

あはは、ぴったりだ！

小さくても 強く生きようね、4ヤカ。

「大丈夫だ。オレがついてるからな」

ずっと、一緒だよ。



ぼくらのラヂョ。

あなた にも。



